



## 新型コロナは「資本の意志」による「世紀の大芝居」!

2015年に計画し、2020年3月全米に感染を広めた遺伝子組換え人工新型コロナウイルスは、1998年8月ケニアとタンザニアの米大使館同時爆破から始まって9/11/2001(WTC2棟同時爆破)で終わった計画に比べてその目的と規模において桁違いである。

9/11はアメリカを中東軍事関与へ誘導する為であったが、新型コロナは経済(金融)・軍事東西冷戦を目的としている。

経済冷戦はドルと人民元の市場争いであり、軍事冷戦は、かつての対日 ABCD(アメリカ・イギリス・中国・オランダ)包囲網と同じく、中国を「窮鼠猫を噛む」に追い込み、中国をかつて日本の真珠湾攻撃に追い込むことにある。

「アメリカも中国も核保有国だからお互いに軍事行動は絶対執らない」と言う神話のような話があるが、よくある希望的観測に過ぎない。

1941年アメリカでは太平洋戦争に「参戦しない」の世論が90%であったが、日本の真珠湾攻撃で「直ちに参戦しろ!」の世論が93%に急変した。

アメリカの安全保障は今なお軍産が握り、中国では人民解放軍は何時でもアメリカと戦火を交える準備が出来ている。

「米中交戦はあり得ない」をベースに政治を語るのは馬鹿げている。

中国を建国100周年の2049年まで放置すればアメリカは、丁度戦後の日米関係(日本の対米属国)と同じになるので、アメリカは早晩中国を叩く必要がある。

その為にトランプは対中挑発を繰り返しているのである。

新型コロナによる国際社会との切断は対外依存関係を断ち戦争をし易くする為であり、国内社会切断で経済を不況に追い込み、国民を生活苦に追い込むことで国民を国家頼りにして国家の対国民支配を強化し、国民を戦争に誘導し易くする為である。

新型コロナの発案、実行(ウイルス散布)の裏には隠された米中冷戦がある。

「資本の意志」は10年もの長き平和には堪えられないのである。

元より「人間の意志」など存在せず、あるのは「資本の意志」と「自然の意志」だけである。

「水を制する者は国を制する」と言うが、新型コロナが弱りかけてくと「自然の意志」が「水の反乱」を起こす。

大都市に対する「水攻め」である。

日本人がラッキーなことは本日入稿の「小冊子」Vol.117(7/31 発送開始予定)をお読みください。

### 増田俊男の「目からウロコのインターネット・セミナー」大好評配信中!

#### 1ヶ月わずか約¥1,000!ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中!「目からウロコのインターネット・セミナー」!視聴期間はお申込み翌月より12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は4~6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX:03-3956-1313、HP: [www.chokugen.com](http://www.chokugen.com)) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX:03-3956-1313) までお知らせ下さい。